

# 大阪公立大学 2024年度 春の人権問題講演会

## 「AIがヒトと社会に与える影響について 考える」

2010年代に画像認識のAIにブレイクスルーが生じ、AIに対する社会の期待と注目が集まる中、2022年頃にはChatGPTをはじめとする生成AIが登場しました。その後、AIの猛烈な進化が続く中で、「AIに職業が奪われるのではないか」「作成した作品が許可なくAIの教師データに利用されているのではないか」「AIによるフェイクニュースにより社会が混乱するのではないか」といった様々な不安が議論されています。あらゆる局面でAI利用が日常化することが想像される将来、どのような社会が待ち受けているのか。そして、私たちは今何に備えればいいのか。医療の領域でAIに関わる研究者として、AIがヒトと社会に与える影響について考えてみたいと思います。

日時：2024年6月28日（金）10：45～12：15

開催方法：オンライン講演（zoom） ※申し込み必要

岡村 浩史 氏（大阪公立大学大学院 医学研究科  
血液腫瘍制御学/臨床検査  
・医療情報医学 講師）



### ●● 講演者プロフィール ●●

岡山大学機械システム工学の学士課程、修士課程を修了後、民間企業でシステムエンジニアとして勤務。その後、山口大学医学部に3年次編入学し、2008年に卒業。2010年から大阪公立大学の血液内科医として臨床業務に従事すると共に、臨床研究を行ってきた。2017年に医学博士課程を修了後は、モノづくりと医療の両現場に携わった経験を生かし、医療情報医学の役職を兼任。現在は、大阪公立大学医学部附属病院で血液内科の診療に加え、医療における人工知能モデルの開発、臨床支援アプリケーションの開発、診療情報標準化の研究に従事している。また、国策として進められる「全ゲノム解析等に係る事業実施準備室」において、臨床情報収集システムの開発を担うコアメンバーであると共に、厚生労働省の「医療等情報の二次利用に関する技術作業班」の構成員として、行政主導の様々な医療DXプロジェクトに参画している。

### 【申込方法】

- 大阪公立大学、大阪市立大学・大阪府立大学の学生・教職員、一般の方：下記QRコードからお申込みください。  
お申込み時に記載いただいたメールアドレス宛てに、オンライン参加用のURL等をご連絡します。  
※授業振替の学生の方はQRコードを利用せず、担当教員の指示に従ってください。

【参加費】無料【定員】300名【申込締切】2024年6月24日（月）

※定員に達した場合は締切を早めることがあります。

### 【注意事項】

- オンラインでの参加は必ず事前にお申し込みください。  
なお、参加にはパソコン、スマートフォンなどの端末およびインターネット環境が必要です。
- 視聴にかかる通信費等は、視聴する方のご負担となります。



主催：大阪公立大学 人権問題委員会



大阪公立大学  
Osaka Metropolitan University